

第 11 回 小学校再編に関する地域住民説明会（新開小学校区） 概要

- 日 時 : 令和元年 11 月 13 日（水） 19 時開始
- 場 所 : 新開小学校体育館
- 参 加 者 : 25 名
- 教育委員会 : 小野寺教育長 他 8 名
（事務局）
- 内 容 : 1. 開 会
2. 教育長あいさつ
3. 教育委員会職員紹介
4. 配布資料確認
5. 説 明
① 学校再編の目的
② 学校再編の具体的方針
③ 検討プロセス
④ 今後の進め方
6. 質疑・応答（意見交換）
7. 閉 会

地域・保護者等から出された主な意見と回答

○新開小学校敷地に 1 校新しい小学校とある。今の新開小学校は 100 名ちょっとで「1 学年 1 クラス」の小学校。今の建物を見ると教室数や特別教室数が少なく、266 人が入れる大きさではない。生徒数が増えるとグラウンドもある程度の広さが必要と思う。本当にこの敷地で足りるのか。

→（回答）

試算では、運動場基準面積は 266 人でも十分にあると。再編により建物の面積は今よりも広がることを考慮しても基準の面積は上回っているので、大丈夫だろうということでこの案にしている。

○その間に小学生が何らかの被害を受けないか。運動場が一時期使えないとか、音楽活動が一時期できないとか。そういう予測があれば教えていただきたいし解決していただきたい。

→（回答）

具体的な検討になったら、例えば仮設の校舎を建てるかは今後検討していきたい。

○まだ決まっていないということか。

→（回答）

実際にどこにどの規模の敷地で、どの辺にどんな規模の校舎を建てて、というのはまだこれからの話。

○担当の方から学校再編の目的をいろいろ言われた。今聞いたら小中一貫のイメージを持たれていると思う。ただ、同じ地域であっても小学校と中学校は離れている。連携が取りやすいということだが、現

実に再編の目的で「いじめが解消できる」ということなんかを書いている。全てバラ色のように書いているが、これが現実にやっつけられるか。

→ (回答)

1点目だが、小学校数が再編により減ることで、やはり小・中の縦の連携や小中の横の連携が取りやすくなる。場所は離れていても、本県他市の事例にあるが、敷地が離れている状態でそのような十分な連携を取り、教育効果を上げることは可能と考えている。それと、再編することにより、いじめがなくなったり、全てバラ色になるかという部分だが、これも他市の例にはなるが、小・中の連携を十分に取ることで、義務教育の9年間を見通して、先生方が集まって研修や、その中で中学校の先生が小学校の方に授業に出向いて行ったりすることで、先生方も子どもも合同で行事を行い、よりお互いを知ることができるようになることで、そういういじめの件数なども減っていくような教育効果が上がっていくと考えている。

○時期的なもの。4段階あり、1段階は南校とあるが、2段階以降はいろいろな状況によって変わるといことで、決まっているのは1段階だけということか。第2段階以降はどこの時点で考えるのか。わかっていればお教え願いたい。

→ (回答)

再編時期は、今の案では第1段階から第4段階までである。南小松島小学校敷地では、どの規模のどのような建物を建てるかを、4年間かけて整備を進めていく。第2段階以降も同じような工程で見込んでいく。2段階以降のことだが、教育委員会としては、この予定のとおり進めていきたいと考えてはいるが、市の予算については、不確定な部分もあるため、そのような書き方をさせていただいている。

○現実に前に進むのはいつからなのか。第1段階は2年でいろいろ検討して設計に入っていく。4年間でつくっていくことになるが、では新開はその1年後につくっていくか、というとそれは再編の見直しがかかっているのではないのか。

→ (回答)

令和3年度に、南小松島小学校敷地の予算が執行されれば、新開小学校は令和4年度に予算を検討する。教育委員会としては、予定通り進めていきたいと考えている。

○今うちの子どもが新開小学校に通っている。新開小学校敷地が「令和4年度から9年度」になっているが、この期間は、例えば新開小学校と統合する坂野や立江、櫛淵から少しずつ子どもが移ってくるのか。それとも、整備が全部終わってから新開に通うということか。

→ (回答)

今想定しているのは、新しい施設ができたときに開校と同時に集まっていただくことを考えている。

○それぞれの学校の名前が個別に付くのかどうか。

→ (回答)

その辺は準備委員会で検討し決めていくことになる。

○和田島小学校と児安小学校は1校ずつ既存のまま残されるが、2030年の10年後、20年後のプランを

見たときに、この1校ずつを残すというメリットは。和田島小学校についても、体育館とかも耐震の段階ではだめな状況になっている中で新築もしなければならない。20年後30年後、それを残せていけるのかどうかのビジョンが全然伝わらない。少人数制になって、その中に職員もいる。ただ学校は広い。維持が大変になってくると思うが、その辺はどう考えているのか。

→ (回答)

まず、メリットは、徒歩で通える児童が最も多くなる。また、2030年度以降の人口は、もちろん、推計ではあるが持っちはいる。ただ、現在2030年度を目途にとさせていただいているが、将来への影響ということで、現在整備が進んでいる高速道路の状況や宅地開発の状況、また、大型店舗の出店の状況などは現時点では予測が難しい。30年後にどうなっているのか、というのは予測が難しい。今回の再編については、2030年度の推計で準備を行うのが適当であるという判断で、今回の4校案を示している。

○自分の実家の方も小学校を現在と同じくらいの規模で建て替えたが、結局人数が減り、職員の負担も増え、地域の負担も増え、児童数が減ってくる中で切磋琢磨して勉強ができない状況がだんだんできてくる。それを予測は不能と言っているが、間違いなく少子化に向かっていくのに、なぜ少人数クラスのところを2校残すのか今の説明でも腑に落ちない。そこに税金を投入していくというのが。もっとすることがいっぱいあるのでは。幼稚園を良くするとか、もっと福祉のほうを良くするとか。公園整備とか。もっとすることがいっぱいあると思う。そこに税金を投入されるのは一市民としては納得いかない。もっと違うところに使ってほしいなと思う。検討の方よろしくお願ひしたい。

→ (回答)

人口予測というのは、当然「推計」で、10年後の再編をめざしてはいるが、2030年度の1,125人の推計の20年後では650人程度の児童数になってしまう。そこからさらに20年経つと、市内全体で400人程度になってという推計がある。ということは、何もかも1つでいいということになってしまうかとは思いますが、ただ、30年後にどうなっているかは、我々シミュレーションは持っちはいるが、人の流れも変わり、予測ができない部分もある。また30年後、40年後に次の再編もあるかも知れないが、現在は2030年度の基準で再編を行うのが適当であるということで、今回の案を出させていただいている。

○4校にするメリットがあるのか。どうせする経費節減から改革からするのであれば2校で決定したらいいのではないか。坂野の者だが、坂野から新開に通ってくるのであれば、もう皆が通ってきたらいいのではないか。

今、和田島小学校の体育館が古いとか、10年後にはまた新築しないといけないし、和田島も生徒数が減り、複式学級化に急になることはないと思うが、もしそうなれば体育館もサラ建てて、下駄履きの校舎を建てて、建てて、建てまくってもプラスになるのか。坂野から新開に通うという意識になれないという人が多いよう。この間から調べていると。それと、ここに来るのであれば、セブンの前の道、3mくらいしかない。あれを7.5m以上に、100mの距離。ルピアのところで待機していて、新開小学校の方、北の方から南のバイパスに出るのに、長い事皆待っている。それも全部解決しないとスクールバス、坂野の端から櫛淵の端から来るのであれば、さっさと車が来れるように、親も送って来ると思う。雨が降って待つて待つてではできない。それと、北側の県道。雨が降ったら水が出て今中学生も困っているよう。自動車に水をかけられて。そんな解決もきちんとしてくれないと、坂野の方から櫛淵の人も立江の人も新開に着きにくいと思う。それは私の感じ。櫛淵の人がそんなこと言うかどうかはわからないが、すみ

ませんが、坂野の人は言わしてもらおう。なぜ4校がいいかを言ってほしい。

→ (回答)

現在も通っている子どもがいる。その子の安全確保のために4校案にさせていただいている。公共施設は、学校だけではなく、他にも建てた後に他の施設に転用することも考えられる。無駄にはならないようにしていきたい。

それと、先ほどの道の問題だが、これはそれぞれ通学路に関しては毎年点検等を行っており、例えば県道であれば県の方に要望も行っているし、市道は市へ安全整備について働きかけは行っていきたいと思う。

○今日参加するにあたって周辺の近所の人とかに5～6件聞いてきた。坂野です。

1番に、保護者の方も言っていたが、新開に行くのであれば坂野からは遠過ぎると。どうして道路が冠水するところに集中するのかが分からないと。これだけ災害が起きているのにと。

それと、災害の面から学校を集中型にするのは危険であると。分散しないと。

それと「まちづくりの視点」で学校編成を考えてほしいと。公園のこととかいろいろあるが。

それと学校でもなければ人口も増えないと、若いお父さんから。なぜ新開ばかりに住宅が建ち、坂野ばかりはできないのかと。それはそれなりの政治的な理由がいろいろあるはずだと。その方は稲田市長のときに学校再編があったときに大分発言をされた保護者の方。

それと、ここからは私の個人的な意見。坂野でもここでも聞くが、現在、小学校の良さが全く語られていない。再編の＋イメージばかりで、では現在の小松島市内の小学校の1年から6年の義務教育はマイナスばかりか。今の良さを大事にしながらどう考えていくべきではないか。これは私の意見。

だから、坂野としては反対。新開に来るのは、遠過ぎ、危ない。災害の面でも。

→ (回答)

ご意見ということでお伺いしておく。先ほどの「今後の進め方」でも申したが、12月上旬に市民3,000人を対象にしたアンケート調査を行う。その調査結果によってこの案を進めていくかどうかの判断をしたいと考えている。

○この4校に再編するにあたり、「人数差」。どうして4校にするのか。再編はある程度の方は仕方がないと考えているのではないかと、個人的には思っているが、現状これだけ毎年人口も児童の数も減っている。日本全体で人口減に対する税収が当然どころも減っているの、公共機関の再編は、学校以外に関しても行われている。小・中学校に関して言えば、日本全国で毎年300～400校の学校がなくなっている。これが現実なところなので、再編に関しては致し方ないと考えられる方が多いと思う。

ただ、この4校の分け方。「子どもが安全に通えるように」という話がさっきの説明にあったが、他の学校の説明会も聞かせてもらっているが、そういう質問が多い中でちょっと分かりにくいと思うので、もう少し具体的にお答えになられたほうがいいのではと思うが、いかがか。

→ (回答)

「安全性の確保」ということで、現在のそれぞれの小学校、中学校に関わらず、通学路の安全点検は毎年行っている。今回、再編をさせていただくことは、当然、距離が遠くなってしまいう方もできてくる。その通学の安心のためにもスクールバス運行を考えている。ただ、今この再編時期で言えば、まだ生まれていない子どもも人数の中に含まれている。具体の経路などを今後検討していくことになるので、今

はまだ具体的なことはできない。

○よろしいか。今はこの「人数差」のことを聞いている。600人そこそこの学校があり、新開は200数十人とか、144人、109人の学校があつてと、この「人数差」のところを聞いている。

私、ちょっとこの資料を見る限りで、「検討プロセス」で、例えば小松島南中学校のところでは、極端な話、この南部に関しては、和田島小学校の敷地、新開小学校の敷地でという2校案になっている。仮にこれを坂野中学校敷地まで入れるし、坂野小学校敷地となったとして、和田島から櫛淵まで先ほどもどなたかあつたが、1校にして合理化を進めればいいのかという話もあつたが、仮にこれを1校にしたとき、坂野小学校は2030年度の児童数が68人。じゃあ、坂野の子は、地元の小学校まで「皆歩いてね」という形で言えると思う。それ以外の子、和田島のニュータウンあたりの子だったら「歩いてね」と言えると思うし、新開の大林の一部の子に関しては「歩いてね」と言える距離だと思う。

ただ、それ以外の子をスクールバスで支援しようと思えば、ものすごい台数があると思う。大型の観光バスでも多分40~50人くらいしか乗れないと思う。そうすると、410人中300人くらいをスクールバスで支援しようとしたら、バスが6・7台いる。これは現実的ではないなというところだと私は思っている。この再編を見て。

坂野、新開、立江、櫛淵に集めるとしても、やはりこれは坂野の跡地だったり、立江の跡地、櫛淵の跡地となってくると、やはり歩いて行ける人数が本当に限られてくる。スクールバスの支援が非常に困難になってくる。そういう委託先も当然ない。じゃあ自前でバスを持つのかとなっても、結局、バスの車検点検、不慮の不具合が出たときに市が自前でバスを持っていても足りない。回らない。ドライバーさんがインフルエンザにかかった、じゃあ子どもは運べない、というような点だと思う。

私が資料見て話聞いて。本当に、義務教育の小学校で勉強していく中で、毎日必ず児童が安心して学校に授業を受けに通えるという観点で、和田島の子は和田島に歩いて行く。児安の子は児安に歩いて行く。という数の確保。新開の子は新開に歩いて行くという数の確保をした上で、最低限で済むようなバスの台数で子どもにしっかり教育を受けさせようじゃないか。というような形で、私はこの資料を読んだりして捉えている。

そこが合っているのかどうか分からないが、その上での「教育効果」の部分だと思う。私は、PTA関係とか、小学校・中学校のスポーツにも携わっているが、小学校・中学校の両方を分かっていたら本当によい。連携ができるというか、中学校のほうの子たちを見ていて、何かあっても小学校の方に確認が取れたりとか。非常にやりやすい。南部で言うと「1中5小」の段階より「1中2小」になった方がかなり合理的にいろいろ物事が進むと感じている。

ただ、それはもちろん「教育効果」という部分で大事だが、一番はやはり子どもを必ず、間違いなく、安心して学校に届けられる教育を10年先、20年先、30年先も受けさせられる環境づくりのためのこの4校案と理解している。

が、さっき言ったように、別にこれは私の意見なのでそうかどうか分からないが、「人数差」のある学校がこれだけできるということに対し多分市民の方はなかなか納得できていないと思う。

→ (回答)

今おっしゃっていただいたように、当初は2校案で考え、その2校にした場合のスクールバスの想定数が約8台、多くの台数を確保するには、市で運行するコミュニティバス等をスクールバスと併用してというご意見もあるとは思うが、それだけの台数のスクールバスの確保自体できるのかということもあ

り、徒歩で通える児童数が最も多い組み合わせを提案している。

例えば南部で言えば、和田島小学校に坂野小学校を集め、新開小学校に立江小学校と櫛淵小学校を集めてきたような組み合わせや、坂野小学校に和田島小学校を統合した場合に、全てのパターンをシミュレーションした結果、最も徒歩で通って来られる方が多い組み合わせが、南部では、新開小学校と和田島小学校、北部についても同じであり、地形等があり、その場所に遠い・近いがあるが、今回の再編では、現在の校区に関しては、そのままに再編をするという方針もあるので、今の4校案が最も徒歩で通って来られる方が多い組み合わせと判断した。

○質問ではないので、そういった理由から、これ個人的な意見になるが、再編にあたってはやはり「徒歩で通える児童数が多い」というのは、個人的にはすごく賛成。当然、子どもは小学生なので歩いて学校に行かせないと体力もつかない。

ただ、さっきも申したように、スクールバスの台数が増えるというのは、最近いろいろな事案もあるから不審者が出たりと、一見安全なように見えても、車の不具合が出たとか、車検のときどうするのかとか、ドライバーさんが病気になったら子どもはどうやって行くのかとか。

現実、日々毎日学校は行くところだから、スクールバスに関しては少ない台数で運行できるような案でいけばいいと、個人的には感じている。

○教育委員会の教育長にお答え願いたい。教育委員会はこの資料の中で「1学年2学級」が必要と言っている。実際は2030年の出発点で全ては「1学年2学級」になっていない。和田島小学校と児安小学校は「1学年1学級」。さらに、それから10年後、新開小学校も「1学年1学級」になると思う。だから、教育長、「1学年1学級」でもいいのではないかと。2学級になぜこだわるのか。

→ (回答)

「めざす」という表現で多分担当も話をしていたと思うが、当初、昨年度の基本方針の中で2学級で学校経営ができたらいという方向で委員会は進めてきた。実際にめざしたが、徒歩通学生があまりにも少なくなってしまう、小学生の低学年の子を考えると、できるだけ近いほうがいいのではないかとこの部分を重視したことで、「1学年1学級」しかできない学校ができてしまう。

2学級をめざした意味は、来年からの新学習指導要領の中に記載されていたことが、先ほど担当が話をした内容である。現在の教育が悪いといのではなく、現在の教育で子どもたちを育成しているが、今度の学習指導要領というのは、さらに30年後を生きていく子どもたちには、さらに新しい力が必要ということで、めざしたもの。

数名ならば「教育効果」が上げにくい部分がある。グループや班学習、大勢で集まる学校行事であるとか、そのようなことを新しい学校でしていきたい。だから、1学級になってもある程度の人数は確保はしていかなければならない。2学級に必ずしなければいけないというような形ではなく、2学級をめざすというような捉え方をしていただけたら有難い。

○実際問題、「めざす」と言っているが、この小松島の人口、あなたたちも発言していたように、予想以上に子どもの数が減っている。これが現実。2学級めざすと言っているが、とてもでないが、私は「1学年2学級」は南小松島小学校だけになると思う。新開の人には悪いが。20年後は、新開も私は「1学年1学級」になると思う。だからこの現実から「1学年1学級」でもいいのではないかと。その中で素晴

らしい学校経営をしようじゃないか、というように考え方を变えてはどうか。

愛媛県の別子銅山がある地域では、少ない人数でも心配りができる教育をと学校再編をやらない。教育委員会自身が、その代わり素晴らしい教育をやっている。あまり「1学年2学級」にこだわらないほうが私はいいと思う。

今でも各11もある小学校で先生は精一杯努力していると思う。前に私発言したが、「1学年1学級」で育った小学生の子どもと、「1学年2学級」で育った子どもが社会人になったときに、どんなマイナス点があったのか。そんなデータどこにもないと思う。だから、要は子どもの教育というのは学校の教育と親の教育。私はそれによって変わってくると思う。

○私は4校案に賛成。中学校が2つあって、小学校が1つずつだと、小・中学校で全然メンバーが変わらない。小学校でしんどい思いをした児童がそのまましんどくなるのではないかなと思う。しかし、中学校に入って新しい友達ができ環境が変わることで、救われることもあると思うので、少子高齢化進んでいるけども、おそらく2校になってしまうのかも知れないけども、児童の少ない多いはあるかも知れないけども、4校にしてほしいなと思う。

高校になったら、また違うところから大勢が来るとき、小・中ずっと一緒ではそのときに環境がガラッと新しくなることに馴染めていけるのかな、という心配もある。そういう意見。

○ここには書かれていないが、給食について質問させていただく。「一律の教育水準」という「一律」という言葉があり、先ほど担当の方から「公平」という言葉があったが、現在の小学校は民間委託による給食調理になっていると思う。中学校は直営で調理していると思うが、それで「公平」と言えるのかと思う。なぜなら、民間業者さんに市の職員(栄養士)が直接指導できないようになっている。その辺はいかがか。

→ (回答)

中学校が直営で、小学校は民間委託ということで給食を行っているが、給食としては、公平性は図られていると考えている。

○一番初めの質問に戻るが、やはりこの新開小学校の敷地は本当に大丈夫か。なぜかと言うと、スクールバスが何台か行き来すると、高校生ならちょっと離れたところにバスが停まっても安全に歩いて来られると思うが、小学校1年生の子に、そのバスから降りるところによっては、狭い道を通らないといけないとか、不便があるとか考えられないか。先ほど、専門家の意見ではこの敷地内で十分だという話だったが、その想定の中にバスを乗入するロータリーを含めているのか。新開小学校の敷地内にプールが入らないから、道路挟んだ向かい側にある。多分他の小学校に比べても狭いと思う。本当に安全に通学を確保することができたうえで、この敷地で大丈夫か。

→ (回答)

266人に必要な運動場の基準面積は2,660㎡となり、新開小学校の運動場の敷地面積は6,143㎡あるので、そういう意味での面積はクリアしている。スクールバスなどの問題については、建物の建設、その敷地の配置の仕方などを含めて、周辺の土地も考えなければならぬと思っている。現在の想定としては基準を満たしている。

○その想定の中でのプールは同じ敷地の中か。

→ (回答)

プールの位置についても、今後考えていくことになる。

○さっきの質問の敷地の件。例えば、私、小松島南中学校があそこに行ける話が出たときに、バイパス、国道の上から見たときに「とても狭いところを選んだな」とすごく思った。こんなところに学校ができるのか。校舎が建って体育館ができれば野球やサッカーはできるのかとすごく心配して見ていた。駐車場もいるだろうしと。出来上がったら、防災のことも当然兼ねてだが、校舎の1階が駐車場になって、校舎の前にも車を止められる。で、上に高さを積んで5階建てにして体育館も3階、4階に。校舎の中に入った一体型。こうするとグラウンドは使えると出来上がった後で全部分かったが、これは新開に限らず、南小松島も一見、これだけ人数が膨らむので狭く見えるが、南中学校のように4階、5階にするなり、体育館を校舎の一体型にするなり、そういうところを含めて今後敷地のことを考えて検討するというので、よいか。

→ (回答)

建て方から防災機能も含めて建設方法等の検討を考えている。

○スクールバスの運行のことだが、小学校は学年によって終わる時間が違う。例えば、低学年は早く終わるが、高学年は遅い。帰りの便はどう運行することになるのか。

→ (回答)

時間が違う場合は、低学年と高学年で分けて帰りのバスを手配することになるかと思う。

○私、最後に教育委員会にお願いしたい。有識者会議は公募制にしたほうが良いと思う。身内ばかりで話してはいけないと思う。知り合いばかりでつなぐのではなく、いろいろ方の意見を聞くには、やはり公募制にしたほうが私は一番フェアだと思う。

○私も今子どもが小学校に通っており、給食の時間がとても好きで、とても大切にしている。先ほど小学校の敷地に何をどう設置するかという話の中で「給食室」も出たが、現在の小学校11校では「自校炊飯」ということで、各学校で作っているが、再編して4校になった場合、子どもたちに安全で安心な給食というのを追及してもらいたいと思っているが、どのようなお考えか。

→ (回答)

今後再編する4つの小学校では、「自校炊飯」での予定を計画している。

○最後にお願いだが、やはり学校というのは安心して安全に行けるというのが一番だと思う。それと、「魅力ある学校」がすごく大事で、やはり遠くても行きたいなと思える学校にしてほしいなと思う。

そのことで、ハード面を整えていくのはすごく重要だが、先ほどやはり統合に際して「小中連携」のほうですごくメリットになっていくということなので、今、現段階からどういう「小中連携」をしているのかを考えていただき、この3月の実施計画案の中で具体的に、「こういう小中連携ができる」「していこう」という案をまとめていただきたいと思います。よろしくお願ひしたい。